

南海トラフ巨大地震の津波浸水想定公表

令和7年3月に国が公表した南海トラフ巨大地震の新たな被害想定等を踏まえ、本県においても、前回想定（平成25年度公表）から13年ぶりに、南海トラフ巨大地震の津波浸水想定の見直しを実施

1 シミュレーション内容とその結果（概要）

- 内閣府「南海トラフの巨大地震モデル・被害想定手法検討会」が、強い揺れ若しくは大きな津波を引き起こす可能性のある領域から設定した11ケースのうち、兵庫県に影響の大きい5ケースを選定（前回想定同様）
- 最新の地形データ**（標高精度向上）や、**防潮施設等の構造物データ等**を反映
- 国土交通省の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、津波が防潮施設の施設天端を越流した場合は破堤する等の**津波被害が最大となる条件にて計算**を実施（前回想定同様）
- 各地域の浸水想定は、県ホームページで確認できます。



県HP（浸水想定）
は [こちら](#)

浸水想定の結果概要および前回想定からの主な変更点は以下のとおり

①浸水面積の減少

H25

6,141ha

R8

4,216ha

県全体の浸水面積は
約3分の2に減少

②最高津波水位の低下

H25

8.1m

R8

6.5m

県内最高の南あわじ市の
最高津波水位は低下
(福良地区の湾口防波堤の整備)

新

③30cm津波到達時間の算出

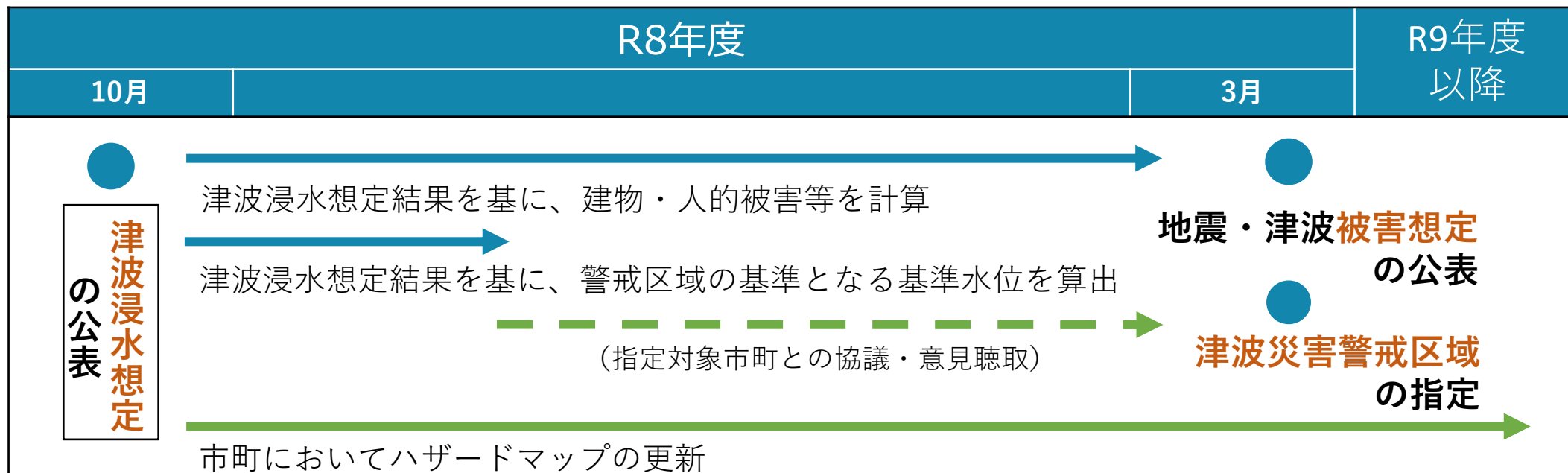
従来の1mの津波到達時間
に加え、「津波に巻き込ま
れた場合、死者が発生する
恐れのある水位」として、
30cmの到達時間を算出

県民の命を守るための
早めの避難行動

2 今後のスケジュール

県 → 市町 →

2



3 県民の皆様へのメッセージ

「津波から命を守るため、強い揺れ等を感じたら直ちに避難を！」

防潮堤等の整備により、浸水面積や最高津波水位は前回想定を下回りましたが、**津波の脅威がなくなったわけではありません。津波は、30センチ程度の高さでも流れに巻き込まれ命を落とすおそれがあります。また、繰り返し押し寄せます。強い揺れや長い揺れを感じたら、ためらわず、直ちにより高い安全な場所へ避難してください。**